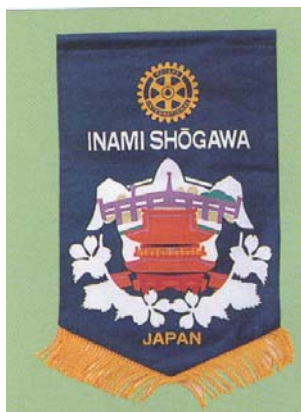




RI 第2610地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2008-09年度 No.21 12月3日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashorc@athena.ocn.ne.jp

2008-09年度 会長 小西 勝、幹事 高瀬 顕正

2008-09年度 RI テーマ



「夢をかたちに」

(李東建会長)

例 会 記 録

第1451回例会

「ロータリー財団月間にちなんで」

平成20年11月26日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 小西会長
2. ソング「奉仕の理想」
3. 卓話紹介「ロータリー財団月間にちなんで」水島政光 R 財団委員長
4. ビジター紹介：三吉外男君（南砺 RC）
5. 会長の時間…「三吉さんようこそ。地区大会での40年勤続表彰おめでとうございます。11月はいろいろな行事がありました。8日はいい歯の日、ところで本日、26日は何の日でしょう？実はいい風呂の日だそうです。ゆっくり風呂にでもつかりたいが、皆さんの忙しくて許されませんね。12月にはいって、もうすぐ上半期の反省の年次総会です。1日に、次年度の役員構成と30周年の準備の緊急理事会を開きます。夕食つきで、文化センター第1会議室で開催します。」
6. 幹事報告…①先日の地区大会の礼状が、2610地区高柳ガバナーと富山未来 RC 会長さんより届いております。
7. 委員会報告…①親睦委員長（代理）：12月24日クリスマス家族例会ですが、三楽園を予定していましたが、休業日なので、外をあたるか、日をずらすか検討中です。②出席委員長(欠席:会員25名中13名出席、出席免除者7名あり内5名出席、調整後、23名中13名出席で、56.52%。)

8. ニコニコBOX(SAA：本日1名2,000円)

山本会員：先週末から、大分でのむし歯予防全国大会に行ってきました。来年は、11月に富山で開催します。私が実行委員長です。

(11月計 20,000円：年度累計 191,000円)

卓話「ロータリー財団月間にちなんで」 水島政光委員長



水島委員長：井波庄川ロータリークラブは、先日の地区大会において、100%「財団の友」会員のクラブ、ということで、表彰を受けました。大変喜ばしいことです。



さて、ロータリー財団には、「地区補助金」制度があり、どのクラブも対象なので、利用価値があると思い調べてみました。是非、活用できればと思います。

そのクラブの、行事について、補助金の対象となるものを列記します。

- ・ 植樹祭：ロータリーが主催するものは対象。
- ・ 車椅子の寄付：特養などの施設に対するものは対象。
- ・ 災害：毛布などの寄付、対象。
- ・ 遊具の寄付：設置遊具は対象、建設費などは対象外。
- ・ お祭りイベント：ロータリーが主催するものは対象。
- ・ スポーツ大会：主催するものは対象。そのユニフォームも対象。
- ・ コンサート：チラン・出演料など、対象、但し、無料のもの。
- ・ ゴミ拾い：ビニール袋など対象。
- ・ PC 本体・プリンター：学校など施設に寄付は、対象。
- ・ トイレ：公園などになら、対象。
- ・ ソーラーパネル：本体なら対象。
- ・ 道路標識：対象。

また、対象外となる不適格なものとして、以下のものがあります。

- ・ 高等教育などのセミナー
- ・ 募金活動
- ・ 30周年などの記念事業
- ・ 地区の親睦会
- ・ 建築関連のもの、講師の謝礼、海外への旅費

この補助金は、年4回（12月・3月・5月・7月1日）受け付けており、2万ドルの範囲以内で申し込みが出来ます。当クラブでも、検討してはいかがでしょうか。

卓話②「地区大会に参加して」

水島委員長の話が早く終わったので、幹事の計らいにより、先週欠席で、地区大会の感想が述べられなかった坂井会員と、横山豊介会員から、報告を受けました。

坂井会員：地区大会に参加して、「街なかランチ」が、大変好評のようでした。市内に多くの飲食店がないと成功しません。とにかく、弁当のゴミが出ない・注文とって余るという無駄がないのが、利点ですね。

ニコルさんの「森をつくる」という話は大変感動しまし

た。最初は暗かったが次第に笑顔が一杯になった子供達の印象が強かったです。



横山豊介会員：この大会はプランナーの素晴らしさが光っています。「街なかランチ」は、弁当を膝の上で食べる惨めさからすると格段の差があります。1番人気はANAの13階のフランス料理で、ワイン付だったそうです。

当日は雨で、傘を持たずにいたが、借りられるよう手配してあったのは良かったです。

森市長の対談もいいキャスティングでした。

話は、変わりますが、いよいよ30周年ということで、この地区大会がプランで成功したように、その計画が一番大事です。井波庄川ロータリークラブの設立のチャーターナイトは、瑞泉寺で行い、大成功でした。また、IMを福祉会館でしたときも成功でした。20周年も、文化センターを貸切にして、長岡すみ子さんと呼んで、大成功でした。今度の30周年は予算の心配もあるが、やるからにはしっかりやりたいと思います。



付録：地区大会記念講演

「森から未来をみる」C.W.ニコル氏



ニコル氏：私は1940年、英国南ウェールズ生まれで、ケルト系小民族の出身です。12歳の時、北極のドキュメンタリーを見て感動しましたが、自分の近くの山や川が産業革命以来、いい石炭が取れるため、どんどん自然破壊がおきている現実を見て、がっかりしていました。17歳のとき、父親とケンカしてキャンプに行くといい、家出、カナダにわたりました。北極地域の野生生物調査を行って以降、カナダ政府の漁業調査委員会技官、環境保護局緊急係官として、10数回にわたって北極地域を調査しました。



その後、帰国し大学に入るも途中で退学し、また、カナダへ渡りました。ところが、大学にいたときの柔道の先生が、嘉納治五郎の弟子で、小泉文治？という人でしたが、素晴らしい人物で、明治時代の紳士という感じの日本の文化を漂わせる人でした。1962年に、空手の修業のため来日しました。あるとき、道場の先生に弟子達とともに、山の中に連れて行かれました。冬でしたので、雪洞の中に蝋燭1本で過ごし、原生林を見たり、囲炉裏のある民宿に泊まり、素朴な美味しいものを食べたりし、すっかり山の虜になりました。英国では900年以上も前にクマは絶滅していましたが、そのクマに感動しました。ケルト人の大

好物のイノシシの牡丹鍋に涙が出ました。

その後、高い山に何度も行き、とうとう1980年に長野県黒姫に、住み着きました。山の中は、あれていましたが、雑木を切り、森に光を入れて、それからドングリの木などの広葉樹を植えて、しばらくしたら森が生き返りました。春には花が咲き、小鳥がさえずり、川の流れの音も聞こえるようになりました。



そうしているとき、友人から施設に入れられている子供達の話聞き、森に誘いました。普段は、虐待を受けたり、構ってもらえない子供達や、目の不自由な子供達を森に連れてくると、暗かった顔が次第に明るい笑顔になってくるのです。皆さん、今がチャンスです。美しい日本を作りましょう。美しい日本は皆を健康にするのです。(抄録：山本)



*尚、地区大会の写真集はHPをご覧ください。

【編集後記】

今号は、地区大会の報告第二弾も掲載しました。ニコルさんの話は、実に感動的でした。自分の体験がこのように未来に向かって、訴え続ける中味があるという、われわれロータリアンも、このようなライフワークを持ち続けたいものです。(山本武夫)